

1. 日時：2019 年 10 月 16 日（水）午後 6 時 30 分～7 時 50 分
場所：母校 保護者控室
出席：田中会長他 40 名
挨拶：同窓会長 田中俊郎(17 回)

2. 議題－1 館山寮男子棟修復

※田中会長が議長となって議題を審議した。

吉村幹事長がこれまでの経緯と議題内容を以下の通り説明した。

1) 被害状況

- ・ 9 月 08 日（日）台風 15 号により、男子棟屋根など吹き飛ぶ被害
- ・ 9 月 10 日（火）佐藤栄作朝陽水泳会会長現地入り
- ・ 9 月 11 日（水）校長など学校や保険会社にも連絡
- ・ 9 月 17 日（火）寺澤事務局長現地入り
- ・ 9 月 25 日（水）ホームページで被害状況報告
- ・ 9 月 26 日（木）椎名政夫建築士（中 19 回）、宮崎副会長、寺澤事務局長現地視察
- ・ 10 月 1 日（土）保険会社査定
- ・ 10 月 15 日（火）財団理事会開催

2) 基本方針

- ・ 昨日開催された財団法人理事会では「来年の臨海教室実施に向けて男子棟を修復する」ことが決議され、更に「財団法人朝陽会は手持資金がないので、朝陽同窓会と PTA に寄付を要請する」とのことも決議された。
- ・ この要請を受け、朝陽同窓会は全力で館山寮男子棟の修復を支援したい。

3) 修復を支援する理由

- ・ 館山寮は卒業生にとって貴重な思い出の地である
- ・ 臨海教室は 100 年近く続く伝統行事
- ・ 1 年生は臨海教室に行き真の新宿高校生となる
- ・ この 5 年間卒業生の答辞で触れられていた
- ・ 歴代校長等が支援

4) 修復費用

- ・ 現在の所、正確な修復費用は見積もれていない
- ・ 約 100 坪あり、坪単価 50 万円位かなと推定している
- ・ 保険金が支払われることが予想される

5) 寄付

- ・ 修復のための財団への寄付は 100 周年記念朝陽募金から支出する
- ・ 朝陽記念募金の対象事業は、奨学金の支給、館山寮の改築、集いの場の創設である
- ・ 今回の修復のための財団への寄付は館山寮の改築事業の一環として取り扱う
- ・ 但し現在の募金を大幅に財団に寄付すると、今後の 100 周年記念事業に影響を及ぼす可能性があるため、台風による館山寮の被害と早期の修復を全朝陽同窓会会員に呼び掛け、募金のさらなる積み増しを図る
- ・ 募金の呼び掛けは本年 11 月末を目標とする
- ・ 募金はゆうちょ銀行の他、クレジット決済などでも出来るよう研究する

6) 日程

- ・ 11 月 朝陽募金目標増額キャンペーン 全同窓会会員に呼び掛け
- ・ 12 月 工事仕様、工務店決定
- ・ 01 月 工務店へ発注
- ・ 06 月 修復完了
- ・ 07 月 臨海教室開催

7) 修復実行委員会

- ・ 修復工事を計画監督するため、財団法人理事会内に修復実行委員会を編成する
- ・ 事務局は朝陽同窓会事務局が担当する
- ・ 目的は被害確認、修復のための仕様の作成、修復費用見積もり、工務店決定などである
- ・ 朝陽同窓会は修復実行委員会から依頼があれば、適宜対応する

※主な質問と意見

- ・ 館山寮再建のための特定寄付金とした方がよりアピーリングではないか
- ・ 同窓会から財団への寄付金は課税されないのか
- ・ 保険に加入していたのか？どのくらい期待できるか
- ・ 昨今の状況から計画された日程通りに進行するのは難しいのではないか
- ・ 臨海教室の計画は 12 月 1 月には確定させるはずで、計画の日程が確約できるか
- ・ 地元の工務店だけでなく、例えばフェリーが使える神奈川の工務店を当たるとか
- ・ 日程通り進まない時のために、民宿を利用するとか他の方策を考えておくべき

※提案の基本方針は承認された

代表幹事から出された質問意見についての対応は、議長から会長及び朝陽同窓会事務局に一任することを提案し、拍手をもって承認された。

3. 議題-2 寿会員制度の廃止

※吉村幹事長がこれまでの経緯と議題内容を以下の通り説明し、提案通り承認された
現適用者には丁寧な説明が必要であると強調された

1) 経緯

- ・ 制度の創設は 1992 年（平成 4 年）の総会で制度設立を承認
- ・ 長寿社会を迎え大先輩の方々には会費の心配をかけるべきではない

2) 廃止を提案する理由

- ・ 会費を少しでも増やしたい
- ・ 会員構成人口の変化 400 名／回の卒業生が年々寿会員に
- ・ 320 名／回の卒業生が年々新会員に
- ・ 80 歳でも元気なので、会費を支払いたい
- ・ 10 回までの代表幹事の大多数が廃止に賛成

3) 実施

- ・ 現適用者への行き届いた説明が必要
- ・ 規約の改訂が必要なので総会の承認を得て 2020 年度から実施

4. 報告-1 100 周年記念事業

※100 周年誌について、西出副会長が概略と現在までの進捗状況を説明した
それ以外の報告事項は時間の制限から説明は省略した

1) 募金

- ・ 募金現況 6,245 万円、2,819 件 10 月 10 日現在
- ・ 大口寄付 候補者 5 名、内 1 名実現

2) 記念事業

- ・朝陽奨学金 2019年度 11名支給/3名支給予定
- ・集いの場 事業準備室 来年9月以降の賃貸を再検討
- ・館山寮改修 前出
- ・名簿発行 2022年度版 100周年記念版として発行を検討中
- ・ホームカミングデー 11月23日(土) 音楽会を中心に
- ・記念祝賀会 2022年10月23日(日) 昼 京王プラザホテル メインゲストへ交渉開始
- ・100周年誌 学校も基本線了承 田久保先生が学校側委員に

3) 収支計画

- ・各記念事業も段々見通せるようになってきた
- ・来年2月の代表幹事会上申

※報告-2以降は時間の制約から説明は省略した

5. 報告-2 組織強化

1) 副会長の選任

- ・現況 前回の代表幹事会の議決に添って実施中
- ・六中 代表幹事に対してアンケート実施中、副会長の選出はない予想
- ・01~10回 代表幹事に対してアンケート実施中、1名選出の見込み
- ・11~20回 阿部さん(S12)が世話役を引き受け、近く代表幹事による会合を設定
- ・21~30回 寺澤さん(S22)に世話役を一任、近く代表幹事による会合を開催
- ・31~40回 前田さん(S31)に世話役を依頼、近く代表幹事による会合を開催
- ・その他の回 小野副会長(S34)に調整を依頼
- ・運動部OB会と文化部OB会 近く会合を開催
- ・支部朝陽会 支部総会の折に本部役員が懇談
- ・旧職員 西尾さん(S24)に世話役を依頼

2) 40回以下の代表幹事と小野副会長の懇談会—— 継続中

3) 同業者による朝陽会(職種別朝陽会あるいは業界別朝陽会)、

- ・51~60回の代表幹事との懇親会で浮上
- ・正式名称は別途決定
- ・モデルとして信販と製薬会社関係の卒業生の会を作成

6. 報告-3 母校の動向

1) 1年生全員対象にインターンシップ実施

- ・大多数の生徒は学校が地元商店街等のつながりで研修先発掘
- ・別途、同窓生に依頼し下記で研修
 - 22回西村昭比古(LCA国際小学校校長)
 - 24回大池克幸(富士電機(株))
 - 35回菅佐原茂(建築金物製造販売会社 役員)
 - 40回平福恵津子(地域障害者相談支援センター 相談支援専門員)
 - 50回姜在根(焼き肉店チェーン経営)

2) 進路部通信

- ・毎号1ページ「先輩からの言葉」に同窓生が寄稿
- ・2019年7月(48号)ト部栄明(23回)1970年和歌山インターハイ 三段跳優勝
元三越日本橋本店 店長

- ・2019年9月(49号)福山知子(38回)(株)カルビー執行役員

7. 報告-4 一般活動

1) 支部朝陽会

- ・9月22日(土) 宮城 参加者11名 寺澤事務局長参加

8. 予定

1) 第4回ホームカミングデー

- ・11月23日(土) 13:00~16:00 母校 終了後懇親会開催
開催テーマ「音楽会」 100周年記念音楽祭への第一ステップと位置づけ

2) 第27回東京校歌祭

- ・10月27日(日) 杉並公会堂 出演 13:50

3) 第11回ゴルフ戸山交流戦

- ・日時 11月1日(金) 埼玉県 武蔵CC

4) 支部朝陽会

- ・日時 11月10日(日) 九州、11月24日(日) 関西

5) キャリアガイダンス

- ・日時 2月12日(水) 午後 卒業生講師 15名程度

次回代表幹事会：2月19日(水) 18時30分～母校保護者控室

以上